

Hakuba47 における CO₂ 削減の取組みについて

目標

今後 5 年間に於いて、当社 Park 内で使用する化石燃料の 10%削減を目標とし、国や県、市町村が定めた温室効果ガス削減に貢献する。

2015 年度より行っている具体的な取組

- リフトチケットはデポジットを頂き、繰り返し利用できるベーシックカードを使用
- 化石燃料を使用する暖房の使用比率を減少させるため、冷暖房型電気エアコンの導入開始
- 圧雪車の運行管理の厳正化
- NO_x、PM等の規制強化対応型圧雪車及び除雪機の導入開始
- 暖房器具の温度設定を下げ、必要ない状態であれば OFF にする等の取組み
(傷病者の関係でパトロール室は除く)
- EV 専用スタンドの導入
- Park 内森林環境保護のため間伐の開始
- 灯具の LED 化及び廊下等の灯具 2 灯式を 1 灯に変更
- トイレ用ペーパーなどをエコ製品へ変更
- リフトや電気設備の電材部品を、電力監視タイプの省エネ製品やエコ電線に変更
- 減速機オイルを高性能オイルに変更及びろ過により使用期間を 6 倍に延長。また、これにより運転温度を下げ、消費電力も抑える効果が副産物として得られた
(オイルの劣化については、成分分析により状態監視を行っている)
- 産業用ヒータ等の省エネタイプへの変更開始

2019 年 12 月 1 日

株式会社白馬フォーティセブン

代表取締役社長 太田 達彦